

諏訪長寿賛助会会報

(公財)長野県長寿社会開発センター

発行日

諏訪支部

平成 29 年 4 月 15 日

諏訪長寿だより

諏訪長寿賛助会

発行者 諏訪長寿賛助会

(諏訪保健福祉事務所福祉課内)

会長 中山 君夫

第128号

電話 0266-57-2910

賛助会役員一部交代、スタート！

平成 29 年度は役員改選の年ではありませんが、一部役員の交代がありましたので、ご紹介いたします。

会長	中山 君夫	
副会長	前田 宇三美	(活動発表会担当)
副会長	浜 勝子	(交流会担当)
副会長	三ッ橋紀代子	(会誌担当)
副会長	百瀬 アキ子	(組織担当) (新任)
副会長	未定	(広報・渉外担当) (新任)
事務局長	宮阪 寿久	(昇任)
事務局次長	武井 直人	(新任)

賛助会活性化委員会（千代馨脩委員長）の答申を受け、今年度は副会長を 5 名に増員することが決まっています。副会長の任務分担につきましては ①長寿だより編集 ②活動発表会担当 ③組織担当 ④事業担当 ⑤広報・渉外担当 ⑥グループ総括担当 となっています。（詳細は次号にてお知らせします）

役員退任あいさつ

副会長（活動発表会担当） 大塚 貞幸

28 年度の活動発表会を担当させて頂きました。大役でしたが諸先輩のご指導のもと無事乗り切ることができました。この一年間は貴重な体験でした。これからは、賛助会の一員として皆様とゴルフ・俳句を楽しんで参ります。

事務局長 峯村 道臣

微力ながら 2 年間大役を果たすことができました。これもひとえに皆様のお力添えのおかげと感謝申し上げます。また広く皆様の知己を得たことはこれからの私の人生に大きな財産になることでしょう。本当にありがとうございました。引き続き賛助会のためにご支援ご協力のほど宜しくお願いいたします。

長寿だより編集委員決定

長寿だより編集委員に新しいメンバーが加わりました。編集委員は次の方々です。

三ッ橋紀代子(委員長) 林 毅(副委員長) 武井 直人 濱 基裕

宮阪 寿久 鈴木 正好 大山 千恵子(新) 大熊 政幸(新) 宮阪 仁子(新)

会員のみなさんには、原稿依頼、取材などでお世話になることが多いと思います。今後も長寿だよりが会員のみなさんの架け橋となりますよう、編集委員一同努力いたしますのでよろしくお願いします。

尚、編集委員としてすばらしい記事を書いてくださった、小松久美子さん・中澤きよ子さんのお二人が退任されます。ご苦労様でした。

第2回県地区賛助会連絡協議会報告

諏訪賛助会会長 中山 君夫

- ① 昨年12月22日長野市で第2回県地区賛助会連絡協議会が開催されました。諏訪からは中山会長、前田副会長、加藤諏訪支部長の3名が出席しました。
- ② 協議会の内容は、29年度長寿社会開発センターの事業計画の説明と、地区賛助会を魅力あるものにするためのワークショップが行われました。
- ③ 主な計画は、今年度のねんりんピック開催は南信地区が当番で、駒ヶ根市で12月1日～3日に行われます。スポーツ交流大会は、茅野市総合運動公園で9月30日に開催されます。
- ④ 賛助会の会員増加策の一手段として、新規立ち上げグループに1万円の資金を支給することになりました。その為の資金捻出を、賛助会費(3,000円)の振り込みをグループ長が実施することで、県が負担している振込手数料18万円を浮かしてこの資金に充当することになりました。
- ⑤ 賛助会を魅力あるものにするための知恵を出し合いました。
「趣味を共にする仲間と知り合い絆を強めて楽しい人生を送る」こと、時に社会貢献活動や、他のグループの仲間との交流を行いながら、培った技能や技術を地域の課題解決にも力を発揮して賛助会の魅力を図ることで意思統一しました。



県地区賛助会連絡協議会



発言する中山会長

これからの諏訪長寿賛助会の課題

～楽しい会の魅力を宣伝して仲間を増やすこと～

- ① 各グループが、作られた目的に沿って楽しい運営を行っていただき、仲間同士の連帯感を強めて長寿社会に貢献してください。
- ② グループ活動の楽しさ溢れる魅力を広くPRしていく支援を賛助会は行っています。其の場はシニア大学生向けであり、地域のマスコミを通して同じシニア向けです。
- ③ 会員同士やグループ間の交流やシニア大生も含めた親睦の場を沢山作る事です。その為の方法としてオープンデイを各グループで企画し、宣伝広報を賛助会は支援します。
- ④ 会の名前を親しみ易い「諏訪シニア賛助会」に改めます。
- ⑤ シニア大学卒業→諏訪シニア賛助会へとスルーで人生を考える、活動する会にしていきます。

諏訪長寿賛助会 活性化委員会報告

委員長 千代 馨脩^{けいすけ}

1. 活性化委員会設置の背景

現在、賛助会を取り巻く環境の変化が大きく会員の減少、活動グループの低迷、市町村代表制の崩壊など、会の運営に難しい場面が発生しています。

内部的には、会則が現状にそぐわない（周知されていない）実情もあり、歴代の賛助会役員も活動の不都合を感じながら、会の運営に努力してきたと言えます。

ここにきて今年度の事業として、これらの問題点を洗い直すために、活性化委員会による賛助会運営の見直しを求められ、諮問することとなりました。

2. 活性化委員会の構成（直近歴代会長経験者・各層代表・学識経験者・直近シニア大リーダー）

委員長 千代 馨脩

委員 鹿熊 翼 上條 國男 武井 正家 田村 雄一 御子柴 晴子
百瀬 アキ子 百瀬 奈美江 矢島 昭弘 小口 修平（順不同）

3. 諮問内容

現状の問題点にかかわる項目として

- ①会則を中心とした問題点の洗い出し（名称・会則・役員体制・総会など）
- ②会員の拡大
- ③シニア大との関連強化
- ④財政ほか活性化必要項目

4. 会議の推移

第1回の会議を28年10月17日に開催し、以降延べ8回にわたる審議の結果、以下に述べる答申に方向づけをしました。

5. 答申内容

- ①名称の変更 親しみやすさを強調
- ②会則の改定
 - ・会の名称変更 ・総会の在り方 ・役員体制（組織）の見直し ・事業内容の見直し
 - ・シニア大との関連強化 ・活性化のための具体的施策など。（次号129号に掲載予定）



千代委員長より答申を受け取る中山会長



活性化委員会のみなさん

長寿賛助会活性化答申を受けて

賛助会会長 中山 君夫

会としての進む方向を明確にお示しいただいた。具体的に提言がなされています。組織活性化の見直しと機能の明確化、など具体的事例が盛り込まれました。後は実践するのみです。各委員の熱心な討議に敬意を表します。私たち役員一同、答申内容を真摯に受けとめ、会の活性化に向けて努力していく所存です。

グループだより

☆「カラオケ」

今回の取材は2回させて頂きました。最初は新年会の1月24日、次は例会の2月14日。まずその新年会は岡谷のカラオケハウス「恵」でした。カラオケが始まる頃合いを見計らって行きますとすでに真最中、その中を中村香会長さん・真野榮子副会長さんに会の様子をお聞きしました。例会はペルシャ館で月2回（第2・第4火曜日）、会員数は現在男性



10人・女性20人とのこと。例会の時は一堂には無理なので、くじ引きで少人数に分かれて各部屋で好きな曲を自由に歌っているそうです。会のモットーは「お互いに健康で和気あいあいと楽しく歌うこと」とのこと。その日も思い

思いにムード歌謡・演歌の曲を披露していました。全体写真を撮ってその日は辞して来ました。さて次に、例会の様子も知りたいと2月14日ペルシャ館に行ってみました。会場にはすでに20人程集まっていた。恒例によりくじ引きがあり、分かれて各部屋に入りました。私もくじを引いた所、会長さんと副会長さんと会員の方と私の4人が同室になりました。さすが会長さん始めお三方、響きのある綺麗な声、上手な歌をじっくり聞かせて頂きました。私も勧められて歌っているうちに、他の部屋の皆さんの歌をお聞きする予定が、気が付いたら終わりの時間になっていました。ミイラ取りがミイラになってしまった。そんなこんなのグループ訪問でした。
(林 毅)

☆ 大正琴「オリブ」

2月17日（金）諏訪市老人福祉センターにお邪魔しました。この会はシニア大学23期生の音楽好きな仲間が琴の音色にひかれ結成。以来15年が経つとお聞きして思わず年齢の計算をしてしまいました。皆さんとても若々しいです。長く続いている秘訣は？には「大正琴が好きだから」と。現在会員は女性18名、例会は毎月第1・第3の金曜日。活動内容は、全国・県・地区大会への参加を目指し、基礎から技量の研鑽に励むとの事。結成当初から指導して下さっているのは藤森とし子先生。6月には諏訪地区の琴伝流発表会があるという事で、今はそれに向けて練習をしていました。曲目は雨の御堂筋。オープニングがオリブとの事で先生より「今のうちにリズムをしっかりと覚えて下さい」と、もの静かな言い方にはしっかり熱が込められていました。大正琴は4つのパートから成り、それぞれの担当が違った音色を出し合う素敵な楽器です。左右の指先がフルに動き、足もリズムをとっているの、脳もフル回転ではないかと思いました。メンバーの中から施設訪問・老人ホームの慰問なども行っているとのことで幅広い活躍が伺えました。先生から細かい所のチェックが入り、同じ所を何度も何度も練習していました。「頑張ってください」と心でエールを送り会場を後にしました。
(中澤きよ子・小松久美子)



～それぞれの思い出を胸に～

平成 28 年度 シニア大学卒業式

シニア大学諏訪学部の卒業式が2月16日諏訪教育会館で行われ、第36期生80名（男性19名、女性61名）が卒業証書を授与されました。列席者全員で「信濃の国」を高らかに斉唱。続いて白井祐二シニア大学諏訪学部長の式辞があり「このシニア大学で初めて出会い、2年間をともに学んだかけがいのない仲間を得られたことは、何にもまして貴重な財産となりましょう。これからのセカンドステージにおいて、お互いを支え合う、生涯の友となることでしょう」と述べられました。また来賓祝辞では六市町村を代表して原村五味武雄村長が「私の父も老人大学の卒業生でした」と思い出を語り、金田照俊茅野市社会福祉協議会会長は「やることある、行く所がある、話す相手がある、訪ねてくれる人がある、ということが高齢者の生きがいにつながります」と話されました。次に阿部守一県知事のビデオメッセージがスクリーンに映し出されました。在校生を代表し



白井学部長より卒業証書授与

て増本美紀子 37 期自治会長の送辞があり、卒業生を代表して長田徳夫自治会長の答辞がありました。答辞の中で「入学当時は 99 人の仲間ですスタートしましたが、卒業は 80 名の仲間でした。教室の外での活発な班活動、学園祭、福祉大での学びなど、大切な思い出として残っています。奉仕活動や社会参加について初めは反発もありましたが、2 年生になると全員が共感して参加するようになりました。

卒業後は地域や社会にお返しをすること、賛助会へ参加し協力することを心がけます」と力強く語られました。

卒業生の塚田八重子さんは「2 年間の思い出と良い友達がたくさんできたことが、私の宝物です。これからもこの縁を大切にしていきたいです」と語っていました。

（三ッ橋紀代子・林 毅）



送辞を述べる在校生代表



在校生の拍手に送られて退場する卒業生

10年記念展

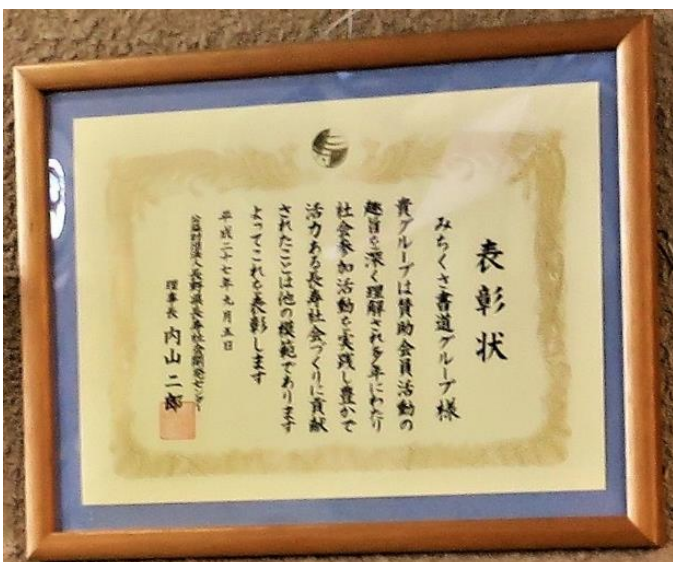
諏訪賛助会「みちくさ書道グループ」



3月1日（水）から13日（水）まで「みちくさ書道グループ」の10年記念展が、岡谷市の諏訪湖ハイツロビーで開かれました。今まで活動発表会や信州ねんりんピックには出品しましたが、公共施設でのグループ展は初めてとのこと。30余点の力作が来館者の目を楽しませていました。小品から半切りの軸装までさまざま。繊細な行書やかな、力強い楷書や隸書など個性的な作品が並んでいました。

みちくさ書道グループは老人大学（シニア大学）26期生の技能講座「書道」の受講者有志が卒業後も続けたいと平成19年に立ち上げ、講師の田村方子先生に学んでいます。会員は17名。昨年度には県長寿社会開発センターより、多年にわたり社会参加活動を実践し豊かで活力ある長寿社会づくりに貢献したとして「表彰状」を授与されています。

遠藤孝人グループ長は「同じ趣味を持ち、感動を共有して気づいたら10年、よく続いたというのが実感です。10年続けていると技術的にうまくなるだけではなく、字に深みがでてきます。習字は最初、まねる・写すところから始まりますが、書道は道をきわめる一生の勉強です」と、この道の厳しさを語っていました。（三ッ橋紀代子・武井直人）



長野県長寿社会開発センター表彰状

活動日	毎月第3水曜日	10時～12時
場所	諏訪市老人福祉センター	
講師	田村方子先生	
グループ長	遠藤孝人	☎58-1408

松本・諏訪両地区の会長交流会が開催されました

地域との交流が活発な松本地区賛助会の小野松雄会長とシニア活動推進コーディネーターの大塚佳織さんに、松本合同庁舎の会議室で1月24日に面会して、松本地区の現況をお聞きしました。

諏訪賛助会からは中山会長と三ッ橋副会長・小口活動推進員が出向し、活動状況・会員減少対策等について意見交換を行いました。また武井編集員が同行しました。

当日はシニア大学の授業が合庁で行われていましたので、授業会場も視察しました。

昼食の時間でしたので、シニア大学生が各班に分かれて昼食をとりながら、活動を実施していました。会場には賛助会のグループ活動紹介パネル（模造紙）が片面壁いっぱいに掲示されていました。また会員の代表者の方達が入会PRのため待機されていました。

小野松雄さんは会長職に7年間従事されていて、会員の先頭に立って活動を推し進めていると話されていました。



松本地区賛助会の個人賛助会員は657名で42の活動グループにわかれて活動が行われています。法人賛助会員は8法人あります。

会長・副会長（2名）・会計の三役の下に事業計画推進・活動グループ推進・会報編集の各委員会があります。各委員会の委員長には三役の副会長・会計がそれぞれ就任しています。また地域が広いので、3地区の地域会（松本・安曇野・塩尻）を運営しています。

三世代文化交流大会・生涯スポーツ交流大会・作品展・料理教室・グラウンドゴルフ・ウォーキング・ボウリング等の諸行事が実施されています。

特に三世代文化交流大会は昨年で10回を迎えた行事で、松本市島内地域の地元の皆さんを主体に保育園児からお年寄りまで集まり、うた・踊り・演奏・マジックショー等のステージ発表を主体に世代を超えた触れ合いの場になっているとの事でした。

地域とのつながり、広がりのある行事です。法人会員の企業がスポンサーになっています。

（武井直人）

松本地区賛助会 組織
三役 会長・副会長2名・会計 計4名
 事業計画推進委員会（7名） 副会長が委員長兼務
 活動グループ推進委員会（7名）副会長が委員長兼務
 会報編集委員会（6名） 会計が委員長兼務
監事（2名）
地域会 松本地域・安曇野地域・塩尻地域



賛助会活動紹介パネル



シニア大学授業 昼食風景

掲 示 板

おはなし屋グループ オープンデイ

諏訪湖畔 七福神めぐり

桜の季節です。お花見をかねて企画しました。きっと素晴らしい出会いとご利益が待っていることでしょう。どなたでもお気軽に昼食を済ませてご参加ください。

4月24日(月) 法華寺(中洲神宮寺) 12時30分集合 解散は午後4時半頃

コース ・法華寺(大黒天)・江音寺(福祿寿)・久保寺(毘沙門天)
 ・平福寺(寿老尊)・下社秋宮「えびす」・来迎寺「鍔焼地藏尊」
 ・温泉寺「布袋尊」・教念寺「弁財天」 ☆移動は各自の車でお願いします。
 連絡先、三ッ橋紀代子 電話 53-3391 Mail kiyoobaba@ga3.so-net.ne.jp

賛助会費一括納入についてお願い (長寿開発センター諏訪支部より)
 今年度より新規立ち上げグループ支援を目的に、これまで会員個々に収めていただいた賛助会費を、グループで一括納入下さるようお願いしております。従来どおり振込通知書による振り込み、銀行引落しもできますが、ぜひグループ内でご検討下さい。

諏訪シニア賛助会

ナイスシニア 信州諏訪 写真展 2017

5月25日(木) 正午～5月29日(月)
 最終日午後5時
 AM 10:00 ～ PM 18:00

会場:岡谷イルフプラザ 3F 催事場
 後援 諏訪写真連盟
 シニア大学諏訪学部



☆合庁県民広場展示グループ 4月彩の音 5月つどいの会 6月墨寿会 7月版画

編集後記

春は出会いと別れの季節。諏訪賛助会の役員にも一部交代があり、シニア大学も新入生を迎えます。ここにも新しい出会いがあります。活性化委員会からの諮問を受け賛助会も変わろうとしています。今年は大きな変革の年になることでしょう。慣れ親しんだ長寿だよりも次号より変わります。名称・題字を素敵なものにしたいと編集委員一同知恵をしばっています。みなさまからのご意見、アイデアをいただきたいと思います。
 (三ッ橋紀代子)